



令和元年 5 月 9 日

各 位

会 社 名 三菱商事株式会社  
代表者名 代表取締役 社長 垣内 威彦  
(コード:8058、東証第 1 部)  
問合せ先 広報部 報道チームリーダー  
小沼 晶(03-3210-3030)

通期連結業績と前期実績との差異に関するお知らせ

当社は、平成 31 年 3 月期通期連結業績につきまして、前期実績との差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 31 年 3 月期 通期連結業績と前期実績との差異

|                               | 収益               | 税引前利益          | 当期利益           | 親会社の所有者に帰属する当期利益 | 基本的<br>1 株当たり<br>当期利益 |
|-------------------------------|------------------|----------------|----------------|------------------|-----------------------|
| 前 期 実 績 ( A )<br>平成 30 年 3 月期 | 百万円<br>7,567,394 | 百万円<br>812,722 | 百万円<br>610,416 | 百万円<br>560,173   | 円 銭<br>353.27         |
| 今回発表業績(B)<br>平成 31 年 3 月期     | 16,103,763       | 851,813        | 645,784        | 590,737          | 372.39                |
| 増 減 額 ( B - A )               | 8,536,369        | 39,091         | 35,368         | 30,564           | 19.12                 |
| 増 減 率 ( % )                   | 112.80%          | 4.81%          | 5.79%          | 5.46%            | 5.41%                 |

2. 差異が生じた理由

(平成 31 年 3 月期 通期連結業績と前期実績との差異)

当社の平成 31 年 3 月期通期連結業績は、IFRS 第 15 号「顧客との契約から生じる収益」を適用した結果、財又はサービスの移転を本人としての履行義務と識別し、対価の総額を収益として認識する取引が増加したことで、収益は前期実績を上回る結果となりました。同基準の適用による税引前利益及び当期利益への重要な影響はありません。

以 上